

シラバス

授業のタイトル(科目名) 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)		授業担当者 平川 泰士
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(2単位)	配当学年・時期 4年2学期	必修・選択 選択	
【授業の目的・ねらい・到達目標】 ・精神保健医療福祉の現場の基本的理解、実習先の基本的理解できるようになる。 ・精神保健福祉士の知識・技術・倫理・法的責務、守秘義務の理解できるようになる。 ・精神保健福祉援助実習の意義について理解できるようになる。 ・精神保健福祉に課題のある人の現状を理解し、その生活実態や生活上の困難について理解できるようになる。 ・実習に関わる個別指導・集団指導を通して、精神保健福祉士の援助の知識・技術について実際に理解し実践的な技術を習得できるようになる。具体的な実習体験を通して、専門職としての価値・倫理に基づき、専門的知識・技術を習得できるようになる。				
【授業計画】 1 精神保健福祉援助実習の意義と内容の理解 2 精神保健医療福祉の現状と当事者の理解 3 障害者福祉サービス・制度における給付等の現状と理解 4 障害者福祉サービス・制度における地域生活支援事業の理解 5 精神保健福祉士としての援助にかかる専門的知識と技能の理解 6 実習における個人のプライバシー保護、守秘義務の理解 7 実習先の理解と実習記録の作成 8 精神保健医療福祉における障害福祉サービスの理解:就労支援 9 精神保健医療福祉における障害福祉サービスの理解:生活支援 10 精神保健医療福祉における障害福祉サービスの理解:相談支援 11 巡回指導・スーパービジョン 12 集団指導による実習記録・体験の振り返りと課題の整理、実習総括レポートの作成 13 個別指導による実習記録・体験の振り返りと課題の整理、実習総括レポートの作成 14 実習報告会:実習評価全体総括 15 実習報告会:実習評価全体総括				
【使用テキスト・参考文献】 別途指定			【単位認定の方法及び基準】 課題作成・実習レポートなど提出課題による評価(60%)、スーパービジョン等での応答・態度・取り組み状況(個人・集団)による評価(40%)を総合し評価	